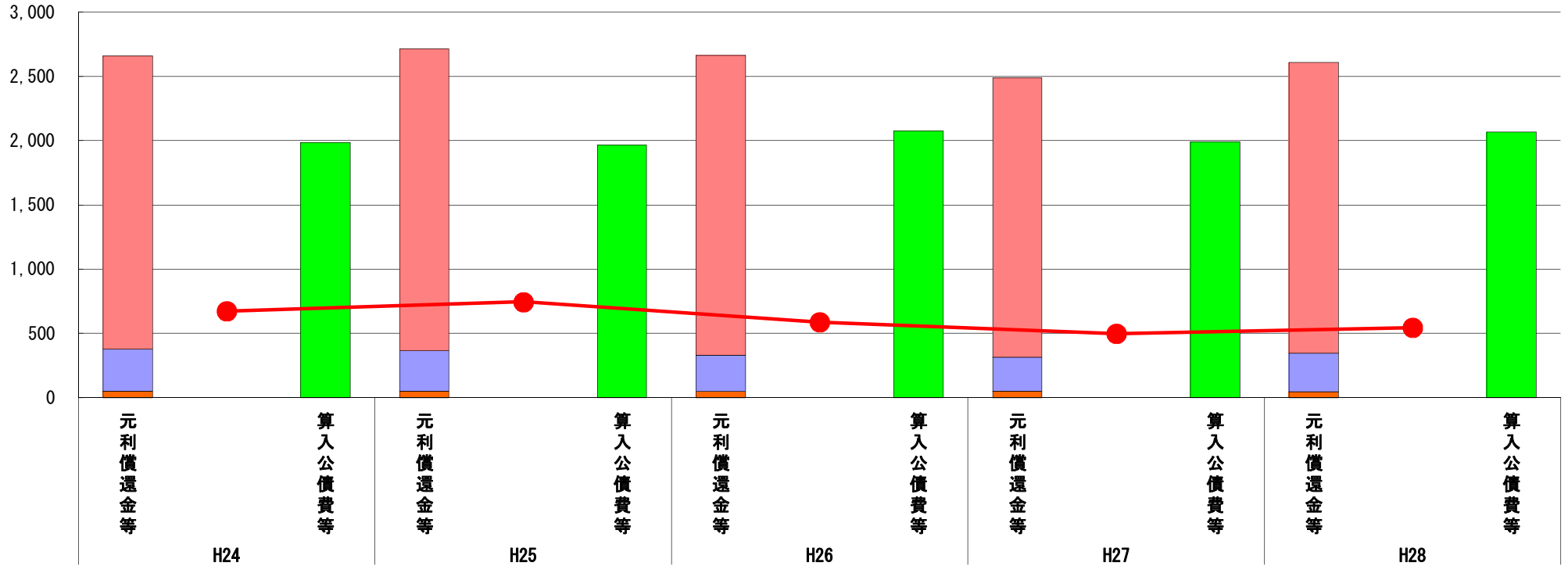


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

千葉県四街道市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,280	2,344	2,332	2,173	2,262
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		327	318	281	264	301
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		49	48	49	50	45
	債務負担行為に基づく支出額		1	1	1	1	1
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,985	1,966	2,076	1,990	2,065
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		672	745	587	498	544

分析欄

平成28年度から、平成24年度に借り入れた臨時財政対策債の償還が始まったことなどにより、元利償還金が増となっている。
 今後は施設の老朽化対策など、大規模事業も予定されているが、国・県支出金や基金の活用により地方債発行額を抑制しつつ、有利な起債を活用することにより、負担を抑制していく。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。